

教育センター通信

第6号(通算122号)
令和6年10月29日

三条市教育委員会
教育センター発行

ほ ど
火床の火の心を紡ぐ

小中一貫教育
トップページ



嵐南小学校 令和6年10月5日(土)
創立10周年記念大運動会 ※中学生もお手合い

学びたいと思った時に安心して学べる環境の整備充実を

学校教育課 指導主事 古澤 正雄

三条市の令和5年度不登校児童生徒数は、前年度よりも増加しています。令和6年度も同様の傾向が続いています。三条市教育委員会ではこの事態を重く受け止め、不登校対策を最重要課題として、学校内外の相談・支援体制の強化を図り、不登校によって学びにアクセスができない子どもたちをゼロにすることを目指しています。

令和5年3月に文部科学省は「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」を通知し、その中で、「不登校児童生徒が学びたいと思った時に学べる環境の整備」の一つとして「校内教育支援センター(SSR)」の設置充実を示しました。

今年度、三条市では不登校児童生徒支援員を9名に増員し、学級に入りづらい児童生徒が安心して学習・生活できる環境整備に力を入れています。主な業務内容は次のとおりです。

- | | | |
|--------------------------|----------------------|----------|
| (1) 不登校、不登校傾向児童生徒の教育相談 | (2) 個別の登校支援 | (3) 学習支援 |
| (4) 生徒指導担当、不登校児童生徒の担任の補助 | (5) その他、所属長が必要と認める内容 | |

月に1回、不登校児童生徒支援員会議を開催し、児童生徒の様子や成果・課題を共有しています。そこでは「教室は難しいけれどここ(SSR)なら居れる」「教室以外に過ごせる部屋があって良かった」といった児童生徒の声が報告されています。支援員からは「登校日数や在校時間が伸びている」「表情が豊かになった」「集中してテストに取り組んでいた」といった声が上がっています。落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できる環境があることが、登校につながっていることが分かります。一方で、「先生方と児童生徒の情報共有する時間がなかなか持てない」「学級へ戻すことだけを目標として良いのか」といった課題や悩みも上がっています。

学びたいと思ったときに誰もが安心して学べる環境の整備充実に向け、全校体制での取組をお願いします。改善・充実のための支援・助言も行いますので、三条市教育委員会にぜひ御相談ください。

学園紹介

四つ葉学園

当学園には、自己の命を守り地域の安全に貢献する子どもの育成を目指した「防災教育部」があります。10月16日（水）、中学生が出身小学校に出向き、小学生、中学生、地域住民が一緒になって防災学習を行いました。井栗小では地震対応と防災グッズづくり、旭小では災害が起こったときにどうする？（Q&A）、保内小では地域を巡る防災さんぽと、それぞれ地域の特色を生かした取組です。

参加した児童生徒の振り返りでは、「日頃の準備の大切さが分かった」「体験したことを実際の生活に生かしたい」「いざ災害が起こっても前向きな考えをもつことが大切だ」などの声が聞かれました。今後も地域を巻き込んだ学園・学校づくりに力を注ぎます。



防災グッズづくり（井栗小）



防災Q&A話し合い（旭小）



地域を巡る防災さんぽ（保内小）

さかえ学園

さかえ学園では、フラワーロード（東西線新幹線ガード付近～大面方面片側歩道脇）に、毎年スイセンの球根を植える活動を行っています。昨年度までは、感染症対応のため各学校での活動となっていました。今年度は、さかえ学園全学校一斉に集い、10月15日（火）に実施することができました。

まず、事前の12日（土）に、中学1年生と地域の方、栄ボランティアセンターの方々から多数集まっていたき、事前に地域の方から刈ってもらっていた草集めを各活動場所にて行いました。

当日は、中学校1年生と各小学校5年生に加え、それぞれの地域の自治会、各校の運営協議会の皆様など、総勢200名程度の方から集まっていただきました。そのおかげで、約800mに渡る活動場所に、800個の球根を植えることができました。小学生からは中学生に感謝する言葉が、中学生からは地域のために役立ったという感想が多く聞かれ、天候に負けにくい気持ちの良い活動となりました。



事前の歩道脇の草集め活動の様子



スイセンの球根を植える活動の様子

休日部活動の段階的な地域移行 進捗状況の報告

今年度は10月15日現在、全5種目の休日の地域クラブ活動を行っています。実施種目や開始日、参加申込人数、指導者数については次のとおりです。

種 目	開 始 日	参加申込人数	指導者数(うち兼職兼業の教員数)
陸 上 競 技	4月20日(土)	95 人	14 人 (4人)
柔 道	5月 4日(土)	17 人	9 人 (1人)
バレーボール 4 拠点	9月 7日(土)	77 人	51 人 (9人)
剣 道	9月28日(土)	15 人	21 人 (1人)
軟 式 野 球 5 拠点	10月 5日(土)	78 人	18 人 (7人)

また、吹奏楽部の休日部活動への指導者派遣については、9月末までに7校に延べ101人の指導者を派遣しました。

令和6年度中にソフトテニスの地域クラブ活動を開始する予定です。その他、今後のスケジュール等につきましては、三条市及び三条市スポーツ協会のHPに掲載の「中学校の部活動の地域移行に関する推進計画」等を御参照ください。

○三条市スポーツ協会ホームページにスポーツ種目の部活動地域移行に関わる情報等を掲載しています。

(以下URL、もしくはQRコードからアクセスしてください。) →
三条市 部活動地域移行 (<https://sanjobukatudoutiikiikou.jimdofree.com/>)



9/28 剣 道 地域クラブ活動



9/15 男子バレーボール 地域クラブ活動

防災キャンプ（宿泊型）

アウトドア体験を通して災害時における防災力を高め、いざというときに必要となる自助や共助の精神を養うことをねらいとし、9月28日(土)・29日(日)の2日間、大崎山公園をフィールドに「防災キャンプ」を実施しました。市内小学生・義務教育学校前期課程生17名が参加しました。

参加児童は、大人からの手助けが最小限の中、「テント張り」や「カレー作り」等を体験し、2日間を過ごしました。また、被災時における「衣食住」の確保についても学びを深めていました。

様々な体験と学びを生かし、今後、地域の防災リーダーとしての成長を期待しています。

【児童の感想】

- ・いろいろと防災を学べてためになったし、全体的に活動が楽しかった。
- ・初めてのキャンプで楽しかった。同年代の友だちができた。初対面の人とも協力することができた。
- ・ご飯がうまく炊けなかった。家でもやってみたい。



テントの設営場面



食器洗い不要の食事

○防災キャンプ（日帰り型）のお知らせ

【日時】11月3日(祝・日) 10時～14時

【会場】三条防災ステーションミズベリング三条

【対象】児童生徒、御家族での参加も可能

【問合せ先】学校教育課 0256-45-1116

ふしぎ発見、科学って楽しいな！ 子どもの科学教室

科学教育センターでは、三条市科学教育推進事業の一つとして、児童の科学する心の育成を図るために、「子どもの科学教室」を行っています。6月の「生物教室」を皮切りに、7月「物理教室」9月「星空教室」10月「地学教室」11月「化学教室」の5つの教室を開催しています。対象児童は、5、6年生の希望者で各教室15人前後の児童が参加しています。毎回、専門の講師から授業をしていただいて、子どもたちは熱心に学んでいます。

写真は10月5日に実施した「地学教室」の様子です。寺泊郷本川河口と出雲崎の落水の滝で露頭観察をした後、伊藤建設さんの協力のもと出雲崎町船橋で化石採取をしました。

子どもたちは、終了時刻ギリギリまで化石を探していました。科学教育センターに戻ってから、化石をクリーニングして、きれいな標本を作りました。子どもたちにとって記憶に残る地学教室になりました。



【化石採取の様子】

【参加した児童の感想】

- いろいろな化石を掘るのが一番楽しかったです。地層を観察するときは、丁寧に教えてくれたのでとても分かりやすかったです。
- 3つの地層を見て、この場所は深い海だったということを知りました。化石は40個くらいとれました。こんなにとれたのは初めてののでよかったです。
- きれいな化石をたくさん見つけることができました。地層の泥と砂が順番になるのはなぜだろうと思いました。



【完成した化石標本】

第1回～第5回三条学講座を実施しました (全7回シリーズ)

第1回「歴史講座1 (郷土の偉人 諸橋轍次博士)」 諸橋轍次記念館

6月4日(火)、12人の参加で実施しました。学芸員からの説明を聞きながら館内を巡った後、生家を見学して、博士の生涯と業績を学びました。

第2回「包丁研ぎ講座 (包丁研ぎの実習)」 三条鍛冶道場

8月6日(火)、19人の参加で実施しました。御自身の包丁を持参し、包丁の研ぎ方を学びました。3種類の砥石(荒・中・仕上げ)を順に使い、熱心に取り組み、切れ味抜群の包丁になりました。

第3回「和釘づくり講座 (和釘づくりの実習)」 三条鍛冶道場

8月9日(金)、20人の参加で実施しました。「階折釘」と「巻頭釘」の2種類の和釘を作りました。鉄を赤く熱し、叩いて形を整える貴重な鍛冶体験となりました。

第4回「歴史講座2 (ものづくりのまち三条のルーツを探る)」 下田資料館

9月18日(水)、14人の参加で実施しました。下田郷の遺跡や大崎鋳物師等の三条鍛冶のルーツと変遷と鋼付けの技術、技術継承、後継者育成等、三条のものづくりへの意気込み、世界に誇る技術の伝承等について学びました。

第5回「金物の話講座 (三条刃物について 講義と実演)」 三条鍛冶道場

9月25日(水)、16人の参加で実施しました。講師の皆様から、刃物の素材である鋼と鉄の違い、刃物づくりの工程や温度管理、世界の刃物業界の中の三条の刃物の現状、若手職人の育成などの講義を受けました。最後に実演として、迫力ある名人技「鍛接」を目の前で見ることができました。

